

平成30年度第2回横浜国立大学校友会理事会議事要旨

(議事要旨確認記名・押印欄)

氏名 石井 康雄



日 時：平成30年10月22日(月) 17時40分～18時50分

場 所：本部棟3階 第2会議室

出席者：会 長(理事) 杉田亮毅

筆頭副会長(理事) 長谷部勇一

副会長(理事) 大門正克

理 事 伊藤信之、石山幸彦、中村博之、眞田一志、高橋和男、鯉沼宏治、
角洋一、石塚隆正、櫻木政司郎、小野塚新、森山潔、有田正司、
永井孝雄、石原健一、吉川英達、井上裕行、石井康雄、大坪幸夫、
宮崎安博、竹内智子

欠席者：芦川 弘、川添 裕、御手洗 大祐、下園剣矢(以上、委任状提出者)

オブザーバー：富松 和寛(基金室)

監 事：出席者 長崎 駿二郎、寺西 昭、平田 博教
(欠席) 井村順子

【定足数確認等】

議事に先立ち、会則第25条第2項に基づき、本理事会は理事会開催のための定足数を満たしている旨(定員27名、定足数14名、出席者+委任状27名)の報告が宮崎事務局長からなされた。

続いて、会則第12条第3項により、会長が議長となり、議事要旨の署名は、理事会運営規程第9条第2項に基づき、石井康雄理事が指名された。

【議事要旨確認】

平成30年度第1回校友会理事会議事要旨(資料2)について確認依頼を行った。

【議事】

1. 報告事項

(1) 横国Day関係

宮崎事務局長から、9月29日(土)に開催された旨報告があった。

また、中村博之横国Day実行委員長(理事)から交流会への参加、さまざまな支援に対して謝辞があった。

(2) YNU横浜経営者の会について

宮崎事務局長から、第3回目を12月7日(金)に参加企業26社により開催する旨報告があった。

2. 大学の近況報告

(1) YNU基金について

大門理事から資料3-1、3-2により、横浜国立大学基金等の状況及び今後の取り組み(執行部による企業等への訪問、給与からの控除による寄附等)について報告があった。

(2) ファンドレイザー雇用形態等について

大門理事から口頭により、寄附を専門に集めるファンドレイザーについて他大学の状況及び本学の今後の方針について報告があった。

(3) 学長報告について

長谷部学長から口頭により下記3点について報告があった。

1) 大学改革について

少子化に伴う大学進学者の減少を見据えて、統合あるいは連携を模索している。

2) 研究面について

科学技術振興機構のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブに採択された。大成建設、帝人、地元tvkコミュニケーションズとの連携事業。

3) 国際面について

①タイムズの世界大学ランキングが発表となった。教育面、外部資金の面では評価が上がっているが、研究面が上がっていない。

②理工系大学院生のダブルディグリーを促進するコンソーシアムに加盟して推進していく。

3. 審議事項等

(1) 平成30年度横浜国立大学校友会修正予算(案)及び執行(見込)状況について

宮崎事務局長から、資料4-1、4-2により修正予算案並びに事業計画進捗状況について説明があり、修正予算(案)について全会一致で原案どおり決議された。

(2) その他

大門理事から口頭により、国立美術館、東京国立博物館キャンパスメンバーズについて説明があり、学内における広報活動を積極的におこなった結果徐々に利用者が増えている旨報告があった。

4. その他

①次年度以降の予算について校友会としてのビジョンはどうなっているか

会長から次年度の予算作成に当たって、以下の3点に重点を置いて案を作成するよう事務局へ指示を出している旨説明があった。

- ・大学のレベルを上げるための大学支援
- ・学生の教育面、部活動を含む学生生活への支援
- ・大学のステータスを高める事業

②上記の説明を踏まえて次のような意見が出された。

- ・地元横浜の企業への就職支援について
- ・東工大の大型モニターによるインターンシップ情報等の提供について
- ・横浜経営者の会の会員による講座について
- ・神奈川県との包括連携協定による「神奈川未来学」について

【次回開催日】

次回開催日は平成31年3月8日(金)17時40分～

会場は、本部棟3階第2会議室を予定。

以上